



国際交流ひろば

4

月号

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL. 261/ April 2023

第30回（令和5年度）鹿児島県青少年国際協力体験事業

世界へ飛び出せ！【令和5年7月23日～30日】 スタディツアー in マレーシア

参加資格

- 中学校・高校（高専の1～3年生含む）に在学中の方
- 国際協力の興味がある方
- 心身ともに健康な方
- 参加するにあたり保護者、学校長の承諾がある方
- 本事業に参加経験のない方
- 全ての日程に参加可能な方（事前研修・報告会を含む）
- 有効な新型コロナウイルスワクチン接種証明書を取得可能な方（必要がある場合）

参加費用

1人当たり20万円程度
※ただし、共催市・協賛企業から半額程度の助成があります。
詳細については、実行委員会事務局までお問い合わせください。

募集締切

【鹿児島市】4月中旬
※学校により異なります。お問合せください。
【鹿屋市】4月21日（金）
【枕崎市】4月28日（金）
【霧島市】4月21日（金）
【南さつま市】4月21日（金）
【南九州市】4月21日（金）
【いちき串木野市】4月14日（金）
【上記以外にお住まいの方】
5月9日（火）

お問い合わせ先

【実行委員会事務局】（（公財）鹿児島県国際交流協会内）
TEL: 099-221-6620

※上記派遣日程以外にも参加必須の日程があります。また、申込先等については、各共催市や実行委員会によって異なります。

詳細はこちらから→



りゅうがくせい せいかつ 留学生のための生活ガイドブック

Living Guide for International Student in Kagoshima

このガイドブックは、鹿児島で新たに生活する留学生をはじめとした外国人の方々に少しでも早く鹿児島での生活に慣れてもらうために作成しました。お知り合いの外国人の方がいらっしゃいましたら是非教えてあげてください。



〈掲載項目〉

留学生に関係の深い法律・日常生活・奨学金・緊急災害・医療・年金・交通・外国人総合相談窓口等々

〈掲載言語〉

日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語

〈問い合わせ先〉

（公財）鹿児島県国際交流協会（KIA） TEL: 099-221-6620

〔詳細はこちらから〕



「Kagoshima で暮らして」

鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。『国際交流ひろば』では、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介しています。

今回は、県内の食品製造会社に技能実習生として勤めるベトナム社会主義共和国出身の チャン・ティ・グエット さんをご紹介します。



出身地について教えてください。

私は、ベトナムの中部にあるハティン省の出身です。海や山があり、夏はとても暑くて台風もよく来る地域です。

そして、中部の一番の特徴は方言が強いことです。私の方言で話をしたら、理解できないベトナム人がたくさんいます。私も鹿児島弁で話すおじいちゃんやおばあちゃんの言葉はわからないので、気候といい、方言といい、鹿児島に似ているかもしれませんね。



ベトナム人技能実習生
チャン・ティ・グエットさん

日本で仕事をしようと思ったきっかけはなんですか？

高校生の時に、日本の「いきものがかり」の「さくら」という歌を聞いて、すごく良い歌だなと思いました。そこから日本の音楽が好きになり、日本に行きたいと思うようになりました。その時は、留学したいと思っていたのですが、父に「うちの家計では難しい」と言われて実習生として来日することになりました。

お仕事について教えてください。

食品製造の仕事をしています。食品を扱っているので、職場は温度設定が低くて冬は寒いですが、他の仕事、例えば外で働く農業などはもっと大変だと思えば、辛いことはありません。逆に、夏はとても涼しいので快適です。

実習生として仕事を始めた時は、仕事に全然慣れなくて、言葉も文化も習慣も分からなかったのが苦労しました。生まれて初めて家族からも離れて、しかも友達もできなかったのがとても寂しかったです。でも、職場の日本人の友達の色々と丁寧に教えてくれたので、今は毎日が楽しいです。

たまに、仕事が辛くてベトナムに帰りたいと思う時もありますが、そんな時は「日本ではおじいちゃん、おばあちゃんも家族のために仕事を頑張っている。自分はまだ若いんだから、乗り越えなきゃ」と思って頑張っています。それに、会社の人も私たちの声をよく聞いてくれるし、困ったことがあったら解決しようとしてくれるので、とても安心です。

会社ではベトナム人が多いんですか？

数年前までは、ベトナム人だけでしたが、最近ではフィリピン人やミャンマー人が多くなってきました。私は4年間働いているので、先輩として基本的な日本語を教えるあげることもあります。「これは日本語で〇〇という意味ですよ」とか。

新しく来た実習生たちは、日本語や文化、習慣が自分の国とは違うので心配している部分もありますね。その気持ちはよく理解できるので「大丈夫だよ、心配しないで。だんだん慣れるよ」と伝えています。私も最初はわからないことばかりで、特にゴミの分別にはすごく困りましたね。

働いていて、ベトナムとの違いを感じることはありますか？

日本人は仕事に話をしないで、とても真面目に仕事に取り組みますよね。ベトナム人も真面目ですが、おしゃべりも大好きなんです（笑）。でも、仕事では集中しないといけないので、黙々と仕事をして、休憩時間になったら、時々話かけて笑わせています。だから「うるさいのが来た」と思われているかも（笑）。もっと日本人と話が出来たら良いなって思います。

日本語がとても上手ですが、どのように身に付けたのですか？

休日によく1人で出かけます。そして、出かけた先で、自分から日本人に話しかけて、会話をすることで日本語を磨いています。

それから、夏には、よく近くの海岸に釣りに行っていました。最初は釣り方もよく分からなかったのですが、日本語の勉強のために、その場にいた日本人のおじさんたちに聞いたら色々教えてくれて、釣具も譲ってくれたんです。「2つ持っているから1つあげるよ。釣り仲間なんだから気にしないで」と。ありがたいですよ。

天気が悪いときには、近くの体育館に行きます。以前、偶然通りかかった時、日本人の若者がたくさんいたので、思いきって話しかけたら、とても話が合って、すぐに友達になりました。それから度々行って、ボール遊びとかしながら楽しんでますし、日本語の練習にもなっています。

去年は「大浪池」や「韓国岳」にも1人で登りました。登っている途中で、日本人の人が「一緒に登りましょう」と声をかけてくれて、嬉しかったですね。

教科書だけで勉強していても全然通じないんですね。だから、日本語の上達のためには、直接日本人と話すのが一番良い方法だと思って、たくさん話かけているんです。だから、例えば、留学生たちは大学で先生が教えてくれますが、私にとっては、周りの人全てが日本語や日本での生活の先生なんです。挨拶をしたら笑顔で返してくれるし、声をかけたら「何ですか？何か困っているの？」と答えてくれて、人の温かさを感じます。皆さんがとても親切にしてくれるので、私は鹿児島が大好きです。



韓国岳登山の様子

好きな日本料理はありますか？

お寿司のマグロが好きです。

日本の友達とスシローに行った時に「生の魚なんて絶対に食べられない」と思ったんですが、友達から「大丈夫だよ、食べてみて」と勧められたので、食べてみたら予想外に美味しかったです！それ以来ハマっています。今では、私がベトナム人の友達をスシローに連れて行って、食べさせてます。私と同じように「美味しい！」って言ってくれますよ（笑）。

将来の夢を教えてください。

やっぱり日本へ留学したいという気持ちがあります。日本の大学で日本語や英語などの外国語をちゃんと勉強したいと思っています。でも、父は年をとっているし、妹たちもいます。だから、すぐに大学に進める経済的余裕はないので、あと1年、ここで働いたらベトナムに戻ってお金を貯めて、自分の力で日本に戻ってこれるように頑張りたいと思います。

外国の方が住みやすくするために、鹿児島の人にできることはありますか？

鹿児島の人には、色々な外国人と積極的に話をしてほしいと思います。お互いに挨拶をしたり、「今日は何食べた」とか、「休みの日は何をやるの？」とか、そんなことを気軽に笑いながら話しかけたら雰囲気も良くなって、外国人も楽しくなると思います。また、そういったことを通じて、お互いの国についてもより深く知ることに繋がると思います。

【徐福伝説】

随分と古い中国のお話である。司馬遷(紀元前145年? - 紀元前87年?)が記した「史記」によれば、秦の始皇帝の時代に、不老不死の薬を求めて中国東南岸から東へと船を漕ぎ出した大船団があった。率いたのは「徐福」。船団には航海、天文、呪術、医学、薬学、農業、大工、石工、製塩など百を超える専門家とそれぞれの最新の道具、稲や麦などの穀物の種子とそれ数千人の童男童女が分乗していた。中国から東に漕ぎ出せば辿り着く先は日本。列島各地にいわゆる徐福漂着伝説が残るが、わが鹿児島県にも徐福が上陸したとされる地がある。東シナ海を臨むいちき串木野市の冠嶽。その物語を、いくつかの文献と筆者の創作によりご紹介する。なお、あくまで筆者の創作であり、物語であることをお断りする。

【始皇帝と不老不死】

紀元前3世紀の頃、群雄割拠する古代中国世界を初めて統一し、自らを始皇帝(初めての王)と名乗ったこの男は、この地上で逆らうものなき絶対的君主としてふるまっていた。全国統治のための郡県制度の確立、度量衡や文字の統一、国内各地を結ぶ道路の敷設を共通のものとするための車輪の幅の統一。これらにより世は活気を帯び、国力は増していったが、一方で始皇帝の施政は厳しく、呼び出しや使役の日を守らぬ者は容赦なく斬刑に処するなど、人民の怨嗟が絶えなかった。自らを天帝と呼ぶ始皇帝は、さらに超人たるべく、不老不死の存在を求めて、神仙思想にのめり込む。そこに巧みに取り入ったのが、方士徐福である。

【徐福、「蓬莱」の地へ】

「皇帝様、海の上に三つの神山(蓬莱、方丈、崑崙)があり、仙人が住んでおります。私がそこまで行って、不老不死の仙薬を求めてきましょう。」と始皇帝に持ちかけた徐福は、大船団を組み、中国東岸から「蓬莱」を目指して出航する。当時の船は、もちろん木造で、船先と艫が大きく反り上がったゴンドラ型をしたもので、一艘当たり40人ほどの搭乗人数。船体中央の帆柱で帆走し、また、30本ほどの櫂も使って、外洋を力強く渡っていく。二度の失敗・引き返しの後、ついに徐福らは



串木野の島平浦(照島)にたどり着く。その海岸には、現在、「方士徐福登陸の地」の碑が建っている。波打ち際に立ち陸地を仰ぎ見た徐福は、そこにあるこんもりとした豊かな山並みに気づく。一行を引き連れその山頂に立つ眺め。また、遠く西の彼方には、長旅の船を漕ぎ出した中国の海岸が目に見え、あぁ、なんと素晴らしい場所にとどろき、その山頂に置いた。以来この山は「冠嶽(かむりだけ)」と呼ばれることになる。

【徐福と弥生時代】

ところで、徐福は、真剣に不老不死の仙薬を求めて、仙人に会わんとして、「三神山」を目指して船出したのか。諸説あるが、一番多いのが、始皇帝の不死願望に取り入り、莫大な財物や童児たちを得たのち、海の彼方にユートピアを築かんとしたのではないかと説く。そのために、徐福は始皇帝に対して「童男童女数千、技術者多数、五穀の種子」を要求したのではないかと。当時は、日本では縄文時代の終わりから弥生時代の始まりの頃である。徐福が連れてきた各種技術者(百工)や五穀の種子の流入が、日本における稲作の普及、生産・生活技術の向上というその時代の社会の変化に符合しないか。串木野照島海岸に上陸した6,000人を超える徐福一行の子孫が、やがて日本全体に移住し、弥生から大和へとつながっていったとすれば、実に壮大な歴史ドラマと言えよう。

【伝説から史実へ】

さて、以上、伝説に基づく徐福物語を綴ってみた。あくまで「伝説」であり、何ら物証はない。徐福が山頂に置いた冠もすでに朽ち果てているだろうし、乗ってきた船もすでに海底の藻屑となっているであろう。残っているのは、中国の史書などの記述と、地元串木野の古くからの言い伝えのみである。徐福はあくまで伝説なのだろうか。

かつて、司馬遷の史記に書かれていた古代中国の「殷王朝」は実在しない架空のものとしてきた。ところが、その幻の殷の都(殷墟)とされた地から1899年に動物の骨に刻まれた甲骨文字が発見され、十数度の発掘調査の後、数多くの王族の陵墓や宮殿が発掘された。その結果、殷王朝(紀元前14世紀〜11世紀)の存在が実証され、広大な遺跡は現在、世界文化遺産に登録されている。

歴史はいくつもの顔を持っている。「歴史は勝者によって創られる」ともいう。いつの日か、冠嶽の頂上で徐福の冠が発掘され、照島沖の海底から古代中国の大型船の残骸が

発見されるかもしれない。「伝説が「史実」に変わるときが来るかもしれない。そう思うとき、この深い山並みの中に果てしないロマンを感じてしまおう。

【冠嶽園】



さて、この地には、もう一つ、ご紹介したい施設がある。冠嶽の麓にある「冠嶽園(かながくえん)」。パンフレットによると、徐福を顕彰するとともに、中国南部諸都市との友好交流の願いを込めて、1992年、旧串木野市が造営した中国風庭園とある。一帯はもともと古代山岳仏教の発祥地で、そこにあった鎮国寺頂峯院という寺跡に広がっている。中国でも最高の美しさを誇る蘇州近傍の庭園を模した「自然式山水庭園」であり、園内には朱塗りの壁と反り上がる瓦屋根をもつ建物群が見事である。そして、海になぞらえた池の上に架かる、龍の彫刻が欄干に施された「風浪橋」や「蓬莱」に渡る橋の先には、東海の彼方に思いを馳せる徐福の像が建つ。中でも一際目立つのが「八蓬閣」。蓬莱の地のものを想像した八角形の建物で、内部に掛けられた絵には童男童女を乗せた大船に乗り込む徐福が始皇帝に挨拶をしている様子が描かれている。園内の雰囲気は実に中国的で、若い人たちが写真撮影に結構来るらしく、我々が訪問した際にも熊本からという女性たちを見かけた。

冠嶽園の背後には、中国ゆかりの孟宗竹林が広がる。また、隣接の花川砂防公園も含めて、四季折々には梅や桜、紅葉などが素晴らしい彩りを見せてくれるらしい。今度はその彩りの季節にお邪魔したいと思いつながら、冠嶽園を後にした。

【冠嶽園所在地】

鹿児島県いちき串木野市冠嶽1-35-1の7

【連絡先】(指定管理者)

有限会社社坂口造園 電話:0996-33-2552



世界各地で活躍する鹿児島ゆかりの方からのお便りです

世界あちこち便り

Olá (オラー/こんにちは)!

ブラジル鹿児島県人会会長の文岡セルジオ正樹です。
ブラジル・サンパウロ在住です。

私は、父親が奄美の宇検村生勝出身、母親も同村湯湾出身という両親の元、サンパウロに生まれた日系二世です。父親は、当時日本移民によって設立され、南米最大と言われた、今は無き農業協同組合「コチア産業組合」が募集した単独青年移民として、また母親は、13歳の時に家族と共にブラジルへ渡り、こちらで出会って結婚しました。

そんな私が初めて両親の生まれ故郷である宇検村を訪ねたのは、13歳の時でした。当時、コチア青年連絡協議会が、コチア単独青年移民から生まれた子供達を対象とした訪日研修ツアーを定期的に行っており、そこに両親が申し込んでくれました。初めて宇検村を訪ねたにもかかわらず、とても懐かしく感じる自分を不思議に思ったことを今でもよく覚えています。そして年の近い従弟たちと一緒に湯湾岳に登って初日の出を見たことが、より一層両親の故郷に親しみを覚える一因となり、自分のルーツは確かにここ鹿児島だと、現在も確信を持って宣言する理由となっています。

そんな多感な時期に経験した訪日ツアーで、知らない国や文化を知ることのできる「旅行」というものに大きな魅力を感じたことがきっかけで、1998年に「クイックリートラベル」という旅行会社を設立、代表取締役社長に就任し、お陰様で本年創立25周年を迎えました。現在、本社をサンパウロに置き、リオ・デ・ジャネイロとマナウスに支店を構え、「レジャー」「コーポレート」「アウトバウンド」「インバウンド」「イベント」の他、日本人や日本企業に対して日本語で対応する「ジャパンデスク」の6部門に分け、総勢140名の従業員がそれぞれ業務に当たっています。また、2017年には、日本企業の駐在員に対する現地サポート専門セクター「クイックリー・コンシェルジュ」を設立、こちらの代表取締役社長も兼任しております。なお、2014年からはJTBグループに加わりました。

このJTBグループに加入したことを機に日本との交流が活発化、訪日の機会が格段に増えていきました。それにより、日本は47都道府県ごとに独特の魅力を持ち、それぞれが独自のPRを展開、またそこには深い郷土愛があることも次第に理解するようになりました。それがきっかけとなり、両親が1960年代以来会員を続けるブラジル鹿児島県人会に、次第に自分も積極的に参加するようになり、2017年には県人会副会長に就任、2018年の県人会創立105周年記念式典時には、実行委員長を務めました。2021年からは第25代会長に就任、現在に至っています。

県人会の活動としては、ブラジル日本都道府県人会連合会が毎年7月に主催し、3日間で約20万人が来場する「日本祭り」にて、郷土料理を紹介する「食の広場」へテナントを出店、そこで鶏飯やさつま揚げ、かるかんなどを販

売するほか、会員の親睦を図るための新年会や敬老会、忘年会および、青年部による文化祭や運動会などが恒例行事です。

会長としての抱負は、現在200万人とされるブラジル日系人はもちろん、現地ブラジル人に対して、鹿児島県の観光スポットや特産物を紹介し、両国の人的交流および経済的発展に貢献したいと考えております。

さて、そんなブラジル鹿児島県人会は、本年、県人移民115周年および県人会創立110周年という節目の年を迎えました。8月6日(日)には盛大な式典を開催するべく準備を進めております。また前日の5日(土)には、日本国外務省が管轄するジャパンハウス・サンパウロにおいて、鹿児島県の観光や特産品をPRするイベント「鹿児島デー(仮称)」を予定しています。鹿児島県の皆様も、ぜひ、この式典に出席してください！そのために、鹿児島発ブラジルツアーパックも企画中です。ブラジル鹿児島県人会会員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております！



←「パウリスタ大通り」
サンパウロの中心
を走る目抜き通り

県人会館での→
毎月第一日曜日の
月例会議の様子



←鹿児島県の広報誌を
手にした会員たち



文岡セルジオ正樹 さん (ブラジル・サンパウロ在住)



第25代鹿児島県人会会長

両親が奄美大島・宇検村出身の日系二世。サンパウロ生まれ。

鹿児島県人会副会長、県人会設立105周年記念式典における実行委員長を歴任。2021年に会長就任。本職は旅行会社社長。

鹿児島日英協会 鹿児島市

◆鹿児島日英協会とはどのような団体ですか？

歴史的につながりの深い、鹿児島と英国が一層の友好親善を図るため医学、文化、経済関係者を中心に英国に興味関心のある人々が集まり、1992年に設立されました。

◆どんな活動をしていますか？ また、県民の方はどのように関わることができますか？

定期的に、英国の歴史、文化、経済の現状、日英交流に関する講演会や英国映画鑑賞会等を開催すると共に、数年ごとに英国大使・公使を招いての交流会を行っています。若手会員による青年部では、在鹿英国人との交流クイズ大会等を行い、親睦を深めています。

また、毎年、主に高校生・大学生を対象として、英国をテーマとしたエッセイを募集し、優秀な作品を表彰しています。年2回、これらの活動を紹介するニュースレターを発行しています。

さらに、県主催の薩摩スチューデント派遣事業に参加した生徒の報告会を開催してきました。大使との交流会やエッセイコンテスト、クイズ大会等には、広く県民の方々に参加してもらっています。

◆県民の方へメッセージをお願いします。

学生さんからご年配の方まであらゆる世代のみなさまに、英国の文化や歴史に親しんでもらえるようにいろいろなイベントを実施しています。交流は日本語です。英国に少しでも興味が有られる方はぜひ鹿児島日英協会の扉を開いてみてください。お待ちしております。



エッセイコンテスト表彰式の様子



駐日英国大使を招いた講演会の様子

鹿児島日英協会事務局

〒892-0871 鹿児島市吉野町 9700-1(島津興業内)

TEL: 099-247-7000 Email: jbskagoshima@yahoo.co.jp

HP



Facebook



かごしまの 国際交流団体紹介



かごしま香港クラブ

◆かごしま香港クラブとはどのような団体ですか？

「香港が好き」という人々の親睦組織で2002年9月に設立され、昨年設立20周年を迎えました。会員同志の親睦、香港の情報交換、香港の言葉や文化などの学習のほか、鹿児島と香港との交流を応援する民間団体です。会員は、香港映画や広東料理が好きな人、香港に何度も旅行している人、鹿児島在住の香港出身者、香港に友人を持つ人、香港に居住経験のある人、香港とビジネス関係がある人など様々です。(略称は「香港クラブ」。

英語名は Hong Kong Club of Kagoshima です。)

◆どんな活動をしていますか？また、県民の方はどのように関わることができますか？

現在は、①香港家庭料理教室の開催 ②広東語講座(自主講座)の開催 ③香港からの訪問団との交流支援 ④会報「多謝香港」の配布 ⑤定期総会・旧正月を祝う会の開催 ほか「香港が好き」という個人ならどなたでも入会できます。2023年3月現在、会員は128人です。

◆県民の方へメッセージをお願いします。

長い交流の歴史を持つ香港との草の根の交流を深めるために、香港の文化を理解したり、香港からの訪問団を受け入れるなどの活動を行っています。街並み・食・人・映画など、香港のことをお好きな方はどなたでも入会できます。ご遠慮なくコンタクトください。



広東語学習会の様子



設立20周年記念懇親会

かごしま香港クラブ

TEL: 080-1713-9595(事務局長 林 祐作) E-mail: kagoshimahkclub@gmail.com

HP



2023 年度 JICA 海外協力隊春募集説明会を実施!

JICA 海外協力隊は、開発途上国や中南米地域の日系人社会からの要請に基づき、青年海外協力隊として派遣され、現地の人々と共にその国や地域の課題解決に取り組みます。任期は原則2年間です。帰国後は、日本や世界で協力隊経験を生かした活躍が期待されています。

2023 春募集
5月19日(金)～
7月3日(月)

5 / 27 (土)
14:00～16:00

場所：鹿児島市立天文館図書館交流スペース
(センテラス天文館4階)

※説明会は事前予約制です。予約なしでも参加頂けますが、予約されると、よりニーズに合った個別相談が可能です。ご予約は海外協力隊 HP の募集特設サイトをご確認ください。(4月下旬以降)



募集説明会では、事業概要をはじめ、体験談発表や個別相談を行い、海外協力隊に興味のある方の疑問にお答えします。お気軽にご参加ください。

JICA デスク鹿児島 担当:飯屋 TEL:099-221-6624 (公財)鹿児島県国際交流協会内



がいこくじん そうごう そうだん まどぐち
外国人総合相談窓口

かごしま す がいこくじん かた そうだんまどぐち
鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

たいおうげんご にほんご えいご ちゆうごくご かんごくご
対応言語 : 日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/シンハラ語/ヒンディー語/ベンガル語/ウクライナ語

かごしまけん こくさいこうりゅうきょうかいない
鹿児島県国際交流協会内
TEL : 070-7662-4541
E-mail : kiasoudan@gmail.com



Facebook



本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

かごしま県民交流センター1階

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: kia@kiaweb.or.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも掲載しています。ご自由にダウンロードしてください。